

## 自衛隊神奈川地方協力本部

## 在日米軍軍楽隊訪問

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、8月18日（火）、神奈川県キャンプ座間にある在日米軍軍楽隊を平塚地域協力団体と共に所長以下2名が表敬訪問した。

本件は、今年4月5日に行われた平塚市渋田川桜祭りにおいて平塚地域事務所が調整し、在日米軍軍楽隊が演奏支援を行ったことに対するお礼と、今後の更なる協力をお願いするために行ったものである。

表敬は同軍楽隊の朝礼に合わせて行い、協力団体と事務所の紹介の後、協力団体から軍楽隊へ記念品の贈呈等が行われた。その後、軍担当者との懇談が行われ約1時間半、意見交換を行った。

軍担当者からは、今後も様々な演奏活動の機会において日本国民との交流の場を多く作り、在日米軍への理解を深めていただくよう努めていきたいとの話があった。平塚地域事務所は、「今後も、米軍と共に地域へ貢献できる各種行事と募集・広報を調整し、垣根を越えた協力体制を築いていく」としている。



記念撮影



表敬の様子

## 富士総合火力演習研修支援について

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、8月20日（木）、東富士演習場で行なわれた「平成27年度富士総合火力演習」において、各協力団体及び募集対象者とその家族約100名に対し、研修を支援した。

特に募集対象者44名は初めて参加する者がほとんどで、駐車場からの徒歩移動も東富士演習場の独特の雰囲気と、支援する多くの自衛官の姿に興奮しながら見学位置に向かい、雄大な富士の裾野に広がる演習地域を確認し、開始前から感動している様子が伺えた。

演習は1部、2部に分かれ行われたが、終了するまでの約3時間、射撃音に驚きながらも最後まで真剣に見学をし、終了後は参加した皆さんから感激の声が多く聞かれた。

募集対象者の一人は、「各火力の命中精度を見て、自衛隊の皆さんが日頃国民を守るために、厳しい訓練をして努力していることが判った。自分も近い将来、一緒に仲間として頑張りたい」との言葉も聞かれ、同行した広報官の喜びもひとしおであった。

平塚地域事務所では、「今後も自衛隊に対する正しい理解と、将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、多くの研修を支援したい」としている。



研修の様子

## 「横浜防災フェア2015」で自衛隊の災害派遣活動をPR

神奈川地方協力本部（本部長 松田 辰雄1等海佐）は、8月22日（土）及び23日（日）、横浜赤レンガ倉庫イベント広場（横浜市中区）において開催された「横浜防災フェア2015」（主催 ラジオ日本・横浜市）に広報展示ブースを開設し、自衛隊の災害派遣活動についてPRした。

ブースでは、災害派遣活動に関する写真パネルの展示、DVDの放映、非常用糧食の展示のほか、第31普通科連隊と協力し、ちびっ子たちに迷彩服を着せて偵察用オートバイに乗車してもらおうなど、大勢の来訪者を喜ばせた。

自衛隊神奈川地方協力本部は、「自衛隊の災害派遣活動や災害用装備品等を広くPRし、自衛隊への更なる理解と協力を求めていく」としている。

ブースの様子  
(非常用糧食の展示)第31普通科連隊の  
偵察用オートバイへの乗車神奈川地本のマスコット  
キャラクター「はまにゃん」